

# 西脇市消費生活センター

☎22-3111(防災安全課内)

No.177

## 令和元年度に受けた消費生活相談

■相談件数 286件 (前年度比10件増)

60歳以上の方からの相談が全体の32%を占めています。一方、前年度に比べ10~20歳代の相談が19件増加しているなど、若者の契約トラブルが増加傾向にあります。

### ■主な相談内容

【架空請求・不審メッセージなど 62件】

はがきやメールで身に覚えのない請求をされた、携帯電話会社や銀行に成り済ましたショートメッセージで、IDやパスワード等の個人情報を聞き出されそうになった など

【デジタルコンテンツ 14件】

アダルトサイトや動画配信サイトを閲覧中、突然「登録完了」と表示され、高額な料金を請求された など

【修理サービス 8件】

インターネット広告などを見て水道の水漏れ修理、下水道のつまり抜きを依頼したところ、高額な料金を請求された など

### ■いま要注意の消費者トラブル

新型コロナウイルス感染症の影響で、自宅でネット通販を利用することが増えています。利用する際には悪質サイトでないか、定期購入でないかなどをしっかりと確認しましょう。



雑誌では「Y字路」など、西脇市の観光名所も紹介

新型コロナウイルス感染症の影響で、自宅でネット通販を利用することが増えています。利用する際には悪質サイトでないか、定期購入でないかなどをしっかりと確認しましょう。

この難局を、西脇市民一丸となり乗り越えましょう。

## あぐりコラム 15

西脇市では黒田庄和牛や山田錦、イチゴなど全国に誇れる地域食材が生産されており、さまざまな農業振興施策を推進しています。このコラムでは、本市の農業に関する旬な情報をお伝えします。

■問合せ 農林振興課(市役所内線322)



イチゴで西脇市を一緒に盛り上げませんか

### イチゴ農家を目指す方を募集しています

いま、若者や女性による起業が全国的に増加しています。同じように、農業の分野で起業を目指す人も増えています。

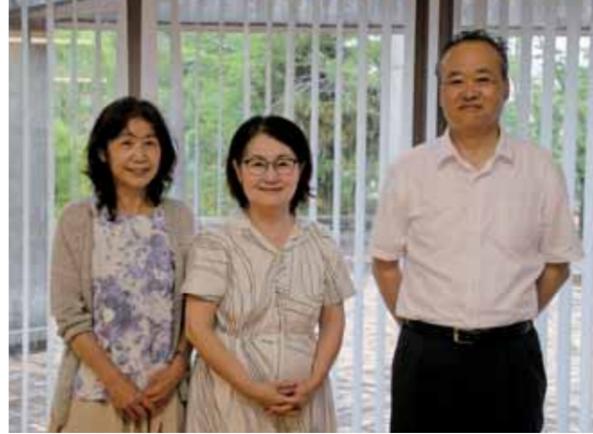
西脇市では、そんな若者や女性、あるいは会社を早期退職して就農しようとする方などを対象に「スイーツファクトリー支援事業」を展開。観光農園として人気の高いイチゴに着目し、市内でイチゴ農家を育成します。

この事業は、農業の面から活力とにぎわいあふれるまちづくりを推進することを目指して平成26年にスタート。西脇市産イチゴの特産化と、就農者の定住を目的としています。就農のための研修施設として、市では高設イチゴ栽培用のビニールハウスを設置しています。研修は栽培から販売、いちご狩りでの観光客の受け入れを実際に体験するなど、就農に向けた総合的な経営が学べる内容となっています。

事業の概要など詳しくは、市ホームページをご覧ください。農林振興課へお問い合わせください。



▲市ホームページ



▲相談には相談員と臨床心理士が対応。気軽にご相談ください

# 好きです!! にしわきわたしのふるさと

## 心紡いで 彩り豊かな人財の育成

~誰もがふるさとに誇りと愛着を持ち、輝いて生きる 共生社会の実現に向けて~

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

### 一人でも悩まないで 専門職員が学校・子育ての相談に応じます

新型コロナウイルス感染症に伴う長期の臨時休校中、保護者の皆さんには学校が配布した学習課題をお子さんと一緒に行うなど、今までにない取り組みにご協力いただきました。例年とは異なる生活に、これからさまざまな心配事が出てくるかもしれません。家庭内で解決できないことなどは一人で抱え込まず、青少年センターなどの相談窓口を利用しましょう。子どもはもちろん、保護者の皆さんの相談にも専門の職員が応じます。

#### 専門の職員による教育相談

青少年センターでは子どもの学校生活や家庭生活、子育てに関する相談を受け付けています。常駐する専門の相談員や臨床心理士が相談に応じます。

◆とき 午前9時~午後5時15分(土・日・祝日を除く) 臨床心理士の相談は青少年センターへ要申込

◆ところ 青少年センター相談室(総合市民センター内) スクールカウンセラーによるカウンセリング

子どもたちの悩みを解決したり、気持ちの整理を助けたりのため、市内に10人のスクールカウンセラーを配置しています。子どもたちは学校

でカウンセリングを受けることができます。保護者がカウンセリングを受けることも可能です(青少年センターまたは学校へ要申込)。

#### 家庭と福祉をつなぐスクールソーシャルワーカー

子どもたちが生活の中で抱えている問題で、家庭だけ学校だけでは解決できない福祉に関することには、スクールソーシャルワーカーが対応します。市子ども福祉課や県の児童相談所など、関係する機関への連絡役を担い、家庭の事情に応じた適切な支援を行います(青少年センターまたは学校へ要申込)。

◆申込み・問合せ 青少年センター(☎22-8080)

### 心のスケッチ

135

### 人権教育課コラム

感謝と思いやりの気持ちで

新型コロナウイルス感染症に関連した緊急事態宣言が解除された後も、感染拡大を予防するための「新しい生活様式」は続いています。感染への用心はまだまだ必要です。日本赤十字社が提唱する「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」によると、感染症による不安や恐れは、私たちの中にある「気付き力」「聴く力」「自分を支える力」を弱めると説いています。この力が弱まると、冷静な判断や対応ができなくなり、差別につながってしまうこともあり

や頑張っていることを認め、自分を褒めましょう。また、取り組んでいることを続けたり、発展させたりしてみてもいいでしょう。あるニュース番組の冒頭、アナウンサーが次のように述べました。

①「気付き力」を高めるために 自分を見つめてみましょう。ちょっと立ち止まって自分のいまの考え方や気持ち、振る舞いなどを見直しませんか。

「皆さん、何かしらの我慢の生活、本当にお疲れさまです。家で少しストレッチをしてみよう。こういったことで体をほぐすことができます。そして、日常のごく当たり前のことに幸せを感じてみる。そうすることで、もしかすると心をほぐすことができるかもしれません。どうか心身の健康を大切になさってください」

②「聴く力」を高めるために 感染症に関する悪い情報など、関心が一部に偏っていませんか。また、何かと感染症に結びつけて考えていないでしょうか。

認めてもらえた喜びと勇気が私の心の中に広がりました。この言葉には、視聴者へのねぎらいとともに、思いやりの気持ちがあふれています。自分のため、人のために一生懸命頑張っている方々に、ねぎらいや感謝の気持ちを伝えたいものです。互いに支え合いながら、不安や恐れを乗り越えていきましょう。(人権教育課)

## 市長からの手紙

西脇を元気に!!

78



西脇市長 片山 圭三

### コロナ禍のピンチをチャンスに!

東海道・山陽新幹線のグリーン車に搭載されている「ひととき」という雑誌があります。これはグリーン車に乗る旅行に関心の高い方向けに、沿線を中心とする地域の歴史や文化などを紹介した旅の情報誌です。東京西脇多可の会の会員の方から、6月号に西脇市が掲載されているとの情報をいただき、このたび初めて手に取りました。

工場や織物工場を訪れ、播州ラーメンなどを食しながら、播州織を特集。日頃見慣れた風景が、市外から訪れた専門家によって素晴らしいまちの紹介となっています。改めて、地場産業を中心に、先人が育んでこられた西脇市の歴史とまちの魅力、播州織の魅力を感しました。

新型コロナウイルス感染症の関係で、地域経済に深刻な影響が出ています。しかしながら、関係機関が知恵を出し合い、抗ウイルス加工の播州織の生地の開発や異なる業種とのコラボによる商品開発、インターネット販売の促進などの新しいことに取り組み、この苦境を改革の原動力にしようとして挑戦していただいています。西脇市、西脇商工会議所、関係団体が連携を密にし、ともに知恵を絞りながら支援策を講じております。